

各府省別ヒアリング資料 (内閣府)

平成25年度概算要求見直しの概要(内閣府宇宙戦略室)

○平成24年9月時点

宇宙空間の戦略的利用の推進
179百万円



○平成25年1月15日時点

宇宙利用拡大の戦略策定
126百万円

事業の一部縮減
表彰事業は事務費等へ移行。

宇宙輸送戦略の立案
23百万円



22百万円

事業の一部縮減

- ・「衛星データ利用促進プラットフォーム整備・運用」については、24年度の執行実績を踏まえ、25年度要求を98百万円から62百万円(24年度予算とほぼ同額)に縮減した。
- ・「宇宙開発利用政策事務費」の25年度要求を101百万円から106百万円に変更。
(表彰事業の追加)

宇宙利用拡大の戦略策定

平成25年度概算要求額126百万円（新規）

内閣府宇宙戦略室
03-5114-1935

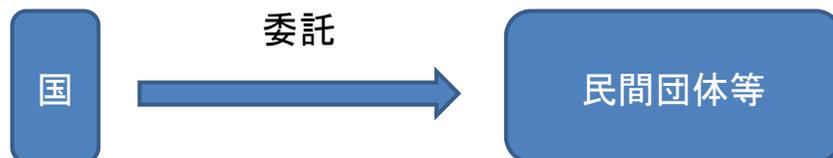
事業概要・目的

- 「内閣府設置法等の一部を改正する法律」が平成24年7月12日に施行され、内閣府に宇宙政策の司令塔機能と準天頂衛星システムの開発・整備・運用等の施策の実施機能を担当する体制が整備されました。
- 主な事務として、
 1. 宇宙開発利用の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な政策に関する企画及び立案並びに総合調整
 2. 宇宙開発利用の推進（他省の所掌に属するものを除く）
 3. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用を行うこととしています。
- 本予算は、主な事務のうち、宇宙開発利用の推進を図るための新たな戦略を策定するための経費です。

事業イメージ・具体例

- 宇宙利用方策開拓調査
宇宙の利用を推進するため、リモートセンシング衛星等のデータの新たな活用方法などを開拓・調査し、リモートセンシング衛星等の行政、産業、社会生活等各面での実利用拡大を図るための戦略を策定します。
(96百万円)
- スペースデブリ等宇宙状況監視に関する調査
スペースデブリをはじめとする宇宙物体の監視及び解析を行うために必要となる宇宙状況監視システムに関する調査研究を行うこととしています。(30百万円)

条件（対象者、対象行為、補助率等）



期待される効果

- 宇宙開発利用の推進を図るための施策の強化